

# 建物の 見どころ

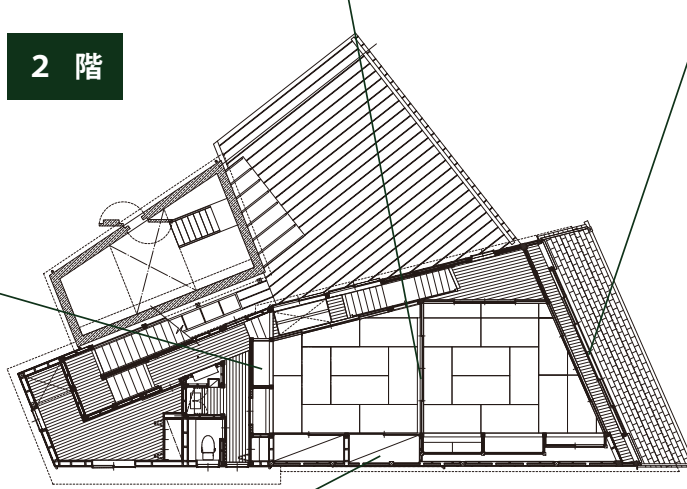
**2階座敷の砂壁**  
元の砂壁を掻き落とし保存。床の間の壁部分に再利用復原した。他の壁は気仙沼の砂を使用しそれに似せて復原。金色の雲母が混ざるのが特徴。



**2階続き間座敷**  
奇跡的に津波の被害から免れた2階の座敷は、ほぼ震災前のままの材料で復原された。楔形の平面形状の建物の形が畳に現れる。左の床柱は黒柿。秀逸な作りの飾り欄間も丁寧に保存修繕。



## 2階



**正面の看板・建具**  
元の看板を丁寧に大ばらして保存し銅板を修繕してそのまま再利用。建具は古い写真等を参考に創建当初の形に復原した。



**大屋根**  
元の屋根材は亜鉛引き鉄板にコーラルタール+緑色塗装。緑色のガルバリウム鋼板で復原した。



**店舗正面下屋**  
津波で流失した下屋部分は、痕跡をもとに形を復原した。正面の建具は古写真をもとに復原。



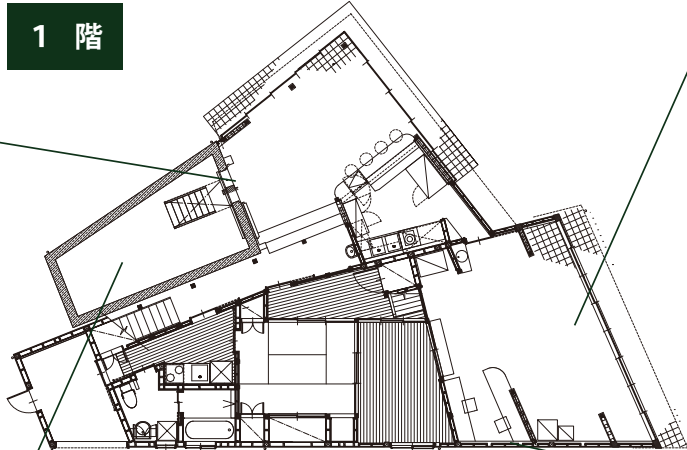
**2階座敷土壁の復原**  
元の壁土と竹小舞を再利用し土壁を復原。子供たちが参加した壁塗りイベントで左官体験を行った。壁の中にそれぞれの未来へのメッセージを記入した木札を塗りこめた。(押入内部に見えるように保存)



**蔵外部**  
塩釜石積の外壁はモルタル、漆喰で復原。屋号のある妻壁部分は元のモルタル仕上を保存。内部は石の表面をそのまま現した。入口上部にアーチ積が見える。蔵のファサード全体が見えるように増築部分と縁を切る様にガラストプライトを設置。



## 1階



**蔵内部**  
楔形の平面形状に沿って大きさを変えたトラスが珍しい。津波で傷んだ腰壁部分は板壁で保護。他は清掃のみで従前のまま保存した。



**外壁**  
元の亜鉛引き小波鉄板を一部に再利用設置。他の部分はガルバリウムの平葺で津波の到達高さを色で書き分けて示した。大屋根の破風板は当初材を再利用。下屋の破風板は古写真より復原した。



# 武山米店 再建 の歩み

多くの皆様のご支援で武山米店が再生しました。震災を乗り越えた、建物再建の記録をお届けします。







震災前外観

# 震災前



# 被災後



壁土と下地の竹小舞の保存



震災後に応急補強が行われた



津波で1階店舗正面下屋部分が流失、内部にも大量の瓦礫が流入した

# 保存解体



斜めに組まれた仕口部分「菱組」



トラスの解体



天井板解体



オリジナルの屋根材（緑色）



床板解体



出桁



正面看板部分の大ばらし



オリジナル外壁（亜鉛引鉄板）



棟札

解体完了（蔵のみ存置）



梁組



当初番付の墨書



部材の格納



梁の地組による形出し



梁組



柱材の根継（継手を千鳥に配置する）



蔵妻壁の保存補強（ピンディング）



「金輪継」による柱材の繕い

# 復原工事



上棟式の矢羽



流失した下屋部分の復原（残存する部材に残る痕跡から形状を復原した）



大ばらしした土壁を元の位置に設置



蔵の屋根を補修（塩釜石）



一部残存した2階建具を修理・復原



大ばらしした円窓を元の位置に設置



大ばらしした正面看板部分を復原、銅板葺きを繕い補修



高耐力面格子耐力壁を新設（1階店舗部分）